

# 信濃川 水辺の楽校 つまりっ子ひろば

●サケと幼魚【写真提供：(財)いよぼやの里開発公社】



●クロマダラカゲロウ



## 信濃川の水生生物 観察ガイド



●ヒラタドロムシ



●ギンブナ

# 信濃川と生活のかかわり

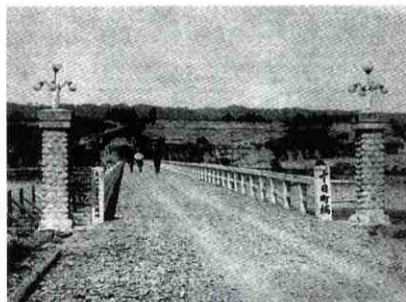
信濃川は長野県に源を発し、千曲川として長野県内を下流し、新潟県に入り信濃川と名を改めます。川の広さは11,900km<sup>2</sup>、長さはわが国最長の367kmであります。

昔、信濃川では盛んに漁業が行われていました。漁具は投網・カキアミ・ツツ・モジリなどで、サケ・アユ・ウナギなどがとれました。姿地区では秋の最盛期にはサケが一晩に20尾も、アユも100尾から150尾もとれることがあり、川べりでは競売が行われました。昭和に入って信濃川発電所の工事が進むにつれ流量に変動があり、川魚はやがて激減していくこととなります。

最初の十日町橋が完成したのは、大正13年10月5日のことです。それまでは、渡し舟を使って行き来をしていました。人も荷物も自分の力以外に頼るものがなかった時代に大河信濃川を越えることは、大変な苦勞と時間を費やしたのです。

信濃川の歴史は水害の歴史でもあります。中でも昭和20年10月5日におきた洪水は6日間つづき、橋の一部の流出、田畑が流されるなどの多大な被害をおよぼしました。

その後も毎年のように水害はおこり、住民生活をおびやかしていました。これらのたびかさなる水害に対し、立ち上がったのが中山龍次（初代十日町市長）です。昭和23年に工事が始まり、昭和28年に1,250mの堤防が完成しました。当時の市民は中山龍次の功績をたたえ、この堤防を「中山堤防」と名づけました。そしてこの堤防は、今も私たちの生活を水害から守っているのです。



●最初の十日町橋（大正13年）



●投網（昭和30年頃）



●市ノ口渡し



●大水の十日町橋（1935年）



●堤防工事（1954年）



●堤防工事の設計図（1951年）

# 住めなくなった魚と減った魚たち

## 私たちの信濃川 水が減って住めない魚たち

発電による減水以降の魚の生息状況



●信濃川で水が減って住めない魚たち

## 信濃川に多い水生昆虫

十日町橋から妻有大橋の間にすむ種類は、ヒゲナガカワトビケラが一番多く、次はチラカゲロウ、カミムラカワケラ、ウルマーシマトビケラの順でした。

では、田川の河口にできた「ざっこの池」や、中沢川の河口には、どんな水生昆虫が住んでいるのかな。みんな見つけられるかな。

夏だけではなく、冬の川にもカワケラなどの雪虫やウサギやタヌキの足跡などを見ることができます。



●ヒゲナガカワトビケラ



●チラカゲロウ



●カミムラカワトビケラ



●ウルマーシマトビケラ

# 信濃川高水敷と水生生物(魚)



信濃川は、その源を長野県の甲武信ヶ岳に発し「千曲川」として長野県内を流下し、長野・新潟県境に至り、ここで信濃川とその名を改めます。流域面積11,900km<sup>2</sup>、流路延長はわが国最長の367kmの大河であります。

県境付近の信濃川本流には、東京電力の西大滝ダム(飯山市)とJR東日本の宮中ダム(中里村)の大規模な発電用取水ダムが2箇所あります。

宮中ダムからは、毎秒7m<sup>3</sup>の維持流量しか流れません。このため、西大滝ダムから魚野川の合流点までの63.5kmについて、水量不足による河川環境が問題となっています。

国土交通省信濃川工事事務所では、平成13年7月より、水温が上昇する7月20～8月31日までとサケが遡上する10月1日～11月9日までの期間について、調査のための試験増放流を実施しております。

後がき：このガイドは植物編、昆虫編に続く第3編として水生生物類だけを編集しました。

(委員/高橋洋一、野上ナオ、桑原雅人、南雲敏夫)



発行：水辺の楽校活用協議会

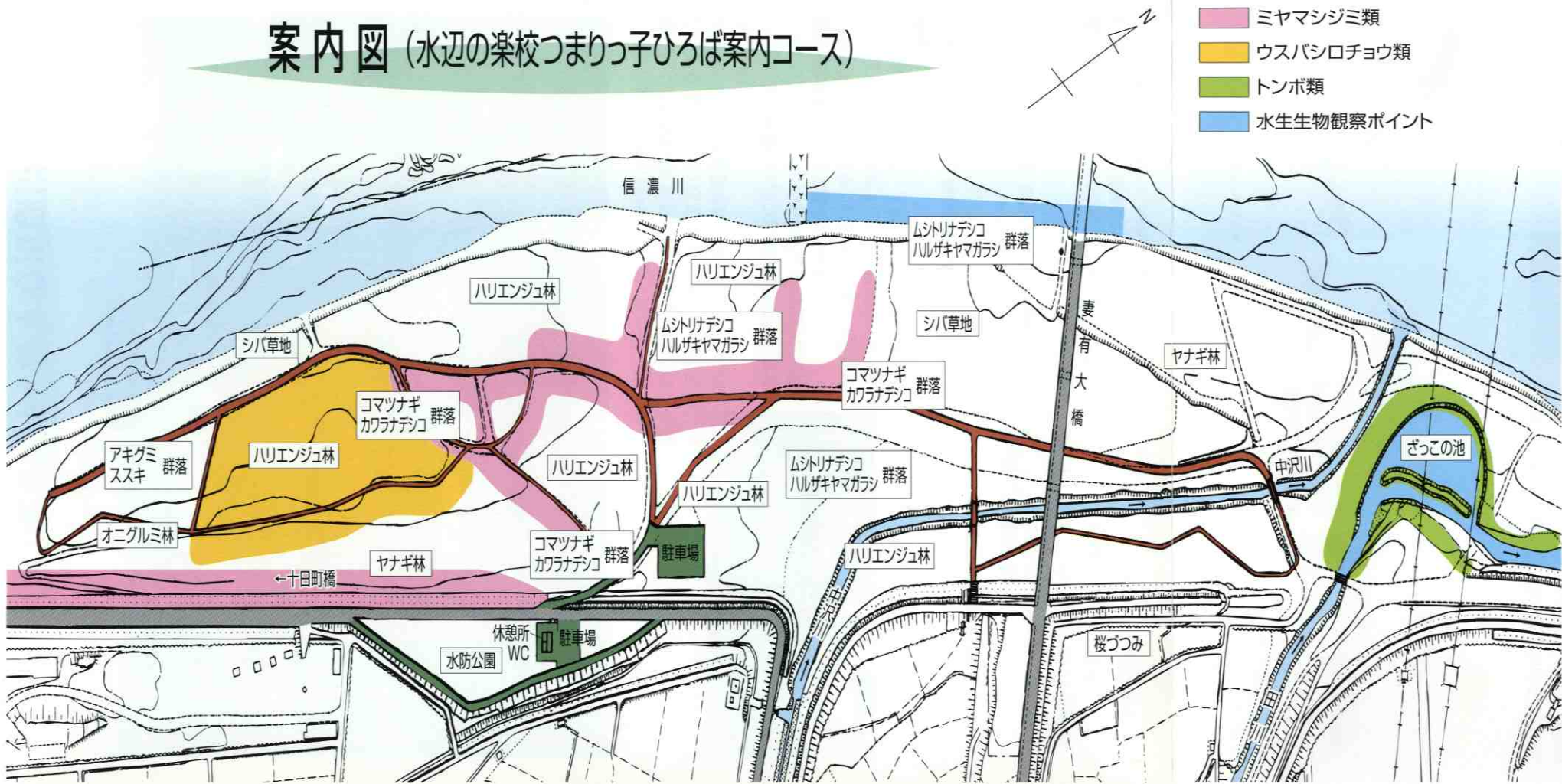
監修：樋熊清治

(信濃川河川環境保全モニター)

協力：国土交通省北陸地方整備局  
信濃川工事事務所

●このガイドは、河川環境管理財団の河川整備基金によって  
助成されたものです。

# 案内図 (水辺の楽校つまりっ子ひろば案内コース)



●コイ



●オイカフ(オス)



●モツゴ



●オイカフ(メス)



●ウナギ



●アカザ(ハチョ)



●エルモンヒラタカゲロウ



●ヒメモノアラガイ



●ヘビトンボと尾



●アユ



●カマツカ(スナッポリ)



●ギギ



●シロタニガワカゲロウ



●オオヤマカワゲラ



●クロスジヘビトンボと尾



●モクスガニ



●ウグイ



●ナマス



●キベリマメゲンゴロウ



●ピロウドイシビル



●シマイシビル



●ニゴイ(アラメゴイ)



●ブルーギル(北米原産)



●ヤマメ